

市民力や民間の知恵と活力を 行政に生かせ！

自民党・新和会 井沢邦夫

1. 第4次長期総合計画においては、団塊世代のエネルギーとノウハウを行政は活かすべきだ(市長) 改革の方向性として民間委託を積極的に活用し、質の高い公共サービスを提供したい
2. 職員が民間を管理できるだけの能力をつけられるような研修や出向制度を設けたらどうか(市長) 人材育成計画の中で検討を進めたい
3. 市民満足度や行政の健全度はどうか(政策部長) 行政革新度は総合で802団体中115位、効率化・活性化度は325位、利便性は258位であり行政改革の余地が多い
4. 高齢化が進む中福祉の面から、市民要望が強いぶんバス新規ルートの検討余地はあるか(市長) 北町・西元町・東元町・恋ヶ窪地域等からの要望が出ており、今後調整していきたい
5. 市民プール等公共施設の震災訓練は、利用者が参加する実践的なものになっているか
6. 悪質商法を受けた高齢者が相談し易いように、市は積極的に手を差し伸べてもらいたい
7. 「いじめ」はいじめられる子に責任はない、いじめる側や黙認する子を無くすことが必要大人や先生の目が届くよう、できる限り子どもたちと一緒に時間を増やす努力をして欲しい
8. 利用者の意見が反映されるようなスポーツ振興審議会の早期設置を望む

「国分人」の活用や 「ぶんバス」などを問う

公明党 佐藤茂也

1. 「まちづくり広場・国分人」の施設利用について 現行の施設使用要領を見直し①第2条1項に『芸術文化団体』を挿入し、同2項に文化団体等が使用できるよう改正すると共に②土・日・祝祭日及び夜間も使用が可能となるようそれぞれ明記すべきと思うがどうか。市民部長 文化振興市民会議からも同様の要望を受けている。①②共改正し要領に明記する。
2. 「国分寺市食育推進計画」の策定について 医療費縮減の面からも重要だ。市長を先頭に都と連携し、市の推進計画を策定すべきだ。市長 四次長期総合計画の中で取組んでいく。
3. 国分寺史跡周辺地区への「ぶんバス」の運行について 東元町4丁目・西元町3丁目地区、国分寺史跡周辺地域への「ぶんバス」の運行は長年の要望だ。地域内には2本の幹線市道があり可能性はある。住民の利便と共に観光客へのサービスの一環として有効と考えるがどうか。市長・建設部長 市で最初に検討した地区だが道路事情で無理だった。引続き検討していく。
4. JR国分寺駅のエレベーター・エスカレーターの設置について 平成18年に各2基増設される予定が更に遅れている。施工時期はいつか。福祉部長 一部設計変更が行われ遅れている。19～20年にかけて、順次供用開始になる予定だ。

地域との連携で 子ども達の安全施策の拡充を

無会派・民主党 興津秀憲

- 興津) 子ども達の生活安全確保の為に、市内の団体・連合三多摩などの他団体とも協働し、安全施策を積極的にとりくむべし。
- 市長) 市民生活を守る危機管理体制の確立は重点目標としている。安全・安心防犯まちづくり方針を今年中に策定する。地域との連携は大事であり、関係団体、関係機関と協力・連携をして、子ども達・地域の安全を守っていきたい。
- 興津) 西国分寺駅東口改札口新設を求める。
- 市長) 平成6年に特定住宅市街地総合整備促進事業において、西国分寺駅東口開設が位置づけられている。必要な施設と考えている。しかし、JRでは現在開設は考えていない。今後とも粘り強く協議をすすめていく。
- 興津) 午前10頃からの自転車駐輪場が、満車で困っている。時間差の駐輪場を設置すべし。
- 部長) 今後の推移を見ながら、検討する。
- 興津) 国の補助金も活用し、木造建物の耐震診断を早期に実施すべく、庁内体制を整えるべし。
- 部長) 19年に耐震改修促進計画を策定する。庁内組織体制も、図っていく。
- その他、①今後の施設改修の際などは、複合施設を考え、防音室などを備え、市民活動に寄与すべき方策を検討すべし。②商業発展の為にフィルムコミッションの活用を求めた。

子どもの権利条例策定は 継続的な子ども参加

国分寺・生活者ネットワーク 梁川律子

- 子どもの権利条例は19年度末までに策定予定となっている。市では以前PTAや市民団体を中心に学習や懇談を行ってきた経緯がある。継続的な市民参加で行うべきと考える。
- 問) 権利条例は人権問題である。当事者である子どもの意見は、総合的な学習など学校内で積極的に取り上げていく方法を検討してほしい。
- 教育長) 子どもの人権は学校教育で最も大事なこと。児童会、生徒会を中心に取り組む。総合的な学習については各学校に任せるが、いじめを含めた人権問題を考える良い機会と捉えている。
- 問) 専門的なアドバイザーが必要である。市長の条例づくりの見解を求める。
- 市長) 他市の条例を引き写すということではなく、御指摘の通り策定のプロセスを大事にした国分寺らしい条例づくりを進める。
- 元気な高齢者の介護予防はおたっしや健診を積極的に取り入れるべきだが、十分ではない。
- 問) 多くの高齢者が健診を受けてもらえるように「出向いていく健診」と健康づくりのフォローが必要。市民活動団体の紹介などを行うべき。
- 福祉部長) 情報提供や相談等見直しを行う。
- その他、災害時の実態に即した災害要支援者対応などを提案。各課連携マニュアル作成や条例・規則改正など検討が行われることになった。

歩きタバコ禁止条例 運用改善に向けて

無会派・民主党 三葛敦志

1. 恒例の歩きタバコ・ポイ捨て禁止条例 街頭演説中に気になった歩きタバコも減少！
Q. 地面の禁煙地区ステッカーが小さ過ぎる。
A. 景観を考えつつ、見やすい工夫考えたい。
Q. 国分寺駅南口の喫煙ポイントの撤去は問題。
A. JR等へ他市とも連携し、申し入れたい。(12月25日より運用開始しました！)
2. いずみホールの利便性向上の工夫
Q. IT活用し、公共施設予約システムを。
A. 長期総合計画の中で検討する。
Q. 既存施設活用のためにバリアフリー化を。
A. 物理的・財政的に困難。検討材料はある。
3. 学校校庭・公園での遊具について
Q. 「事故＝撤去」より子どもの発達の視点を。
A. 安全性考え、早期に発見し修繕したい。
4. 放置自動車撤去問題：9月より6件処理
Q. 青梅市条例では撤去費用徴収・罰金も。
A. 条例までは難しい。見回り強化したい。
5. 給食調理員の勤務状況～奈良病欠問題より
Q. 奈良市の問題あり。病欠の際の手続きは？
A. 診断書の提出求める。長期だと休職扱いも。
Q. 役所側からセカンドオピニオンも求めよ。
A. 検討してみたい。
Q. 市民から疑念を抱かれることなく、適切な市政執行を貫いて欲しい。

少額所得者の市民税を非課税に

日本共産党市議団 川合洋行

1. 国民保護計画(素案)について
問) 素案は「核兵器等を用いた攻撃」も想定している。戦争準備の何物でもない。このような計画づくりでなく、憲法を守り戦争状態にならないことが最大の市民保護ではないか。
市長) 憲法の主旨に則って、平和な体制が守られるように努力していくことが大事だが、不測の事態に対する備えは大切だと思う。
2. 少額所得者の市民税非課税制度を
問) 老年者の非課税制度の廃止で課税になった人数と税額はどの程度か。
総務部長) 19年度は810人、1,425万円になる。
問) 介護保険料、利用料に対する影響は。
福祉保健部長) 第二段階11,100円から第四段階44,500円の人が、第五段階55,700円になる。
問) 重税、高負担を条例で救済せよ。
市長) 低所得者対策は国の仕事、その条例を作れば、周辺から国分寺市に移動してくる。
3. 住民税フラット化の市と市民の影響
問) 三位一体改革の市財政への影響は。税源移譲額が都に厚く、市に薄い、配分変更を求めよ。
政策部長) 一般財源でマイナス14億6千万円になる。
市長) 大変なピンチだ。都にも言うべきことは言っていく。